

2. 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Investigative ophthalmology & visual science 48(1):455-463,2007	Cytotoxic effect of spermine on retinal pigment epithelial cells.	Kaneko S	眼科
Japanese journal of ophthalmology 51(5):360-367,2007	Prospective study comparing the effectiveness of scleral buckling to vitreous surgery for rhegmatogenous retinal detachment.	Matsumura M	眼科
厚生労働省網膜・脈絡膜・視神経萎縮症調査研究班報告書 平成18年度研究報告書235-237,2007	加齢黄斑変性の新しい診断基準	高橋 寛二	眼科
眼科臨床医報 101(4):496-766,2007	重粒子線治療後に黄斑浮腫を認めた脈絡膜悪性黒色腫の1例	松村 美代	眼科
日本眼科学会雑誌 111(9):735-740,2007	前房蓄膿様所見を示した食道原発の転移性虹彩腫瘍の1例	高橋 寛二	眼科
臨床眼科 61(9):1649-1652,2007	加齢黄斑変性の視力不良例に行った光線力学的療法の治療成績	長央 由里子	眼科
臨床眼科 61(6):1083-1086,2007	虹彩生検で診断が確定した悪性リンパ腫の1例	高橋 寛二	眼科
頭頸部外科 17(1):3-9,2007	【中咽頭癌の手術 術後QOLを考慮したアプローチ法と再建法を考える】上側壁型中咽頭癌に対する術式と機能評価	井上 俊哉	耳鼻咽喉科
Otology & neurotology 28(8):1041-1044,2007	Hearing results for ossicular reconstruction using a cartilage-connecting hydroxyapatite prosthesis with a spearhead.	Doi T	耳鼻咽喉科
Radiology 243(2):578-587,2007	Primary patency with cutting and conventional balloon angioplasty for different types of hemodialysis access stenosis.	Kariya S	放射線科
AJR. American journal of roentgenology 189(6):W348-352,2007	Relationship between cement distribution pattern and new compression fracture after percutaneous vertebroplasty.	Tanigawa N	放射線科
The British journal of radiology 80(952):e78-80,2007	Lower limb ischaemia caused by fractured osteochondroma of the femur.	Tanigawa N	放射線科
日本医事新報 (4345):69-72,2007	画像診断ライブラリー 前立腺肥大と前立腺癌のMRIにおける鑑別	黒川 弘晶	放射線科
核医学症例検討会症例集 27(2):40-41,2007	GSA、スズコロイドシンチにてアルコール性肝障害の改善を見た1例	河 相吉	放射線科
緩和医療学 9(4):331-335,2007	【緩和医療で活用すべきInterventional Radiology(IVR)】気道狭窄に対するIVR	谷川 昇	放射線科
骨・関節・靭帯 20(2):177-185,2007	【骨軟部腫瘍における画像診断の進歩】骨病変に対する画像ガイド下低侵襲性治療	谷川 昇	放射線科

(注)1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる発表者の氏名を記入すること。

2. 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
大阪母性衛生学会 雑誌 43(1):24-27,2007	当院における電子カルテ運用の実際	依岡 寛和	産婦人科
Reproduction 133(4):797-806,2007	Role of protein kinase Cbeta in rhythmic contractions of human pregnant myometrium.	Yasuda K	産婦人科
産婦人科の進歩 59(4):274-277,2007	子宮温療法を行った子宮体部腫瘍2症例の経験について	米田 祥子	産婦人科
産婦人科の進歩 59(3):249-251,2007	子宮頸部円錐切除術後妊娠の産科的問題	榎木 晋	産婦人科
産婦人科の進歩 59(3):231-236,2007	高悪性度子宮内膜間質肉腫の1症例	角 玄一郎	産婦人科
産婦人科の進歩 59(3):82-86,2007	診断に苦慮した巨大筋腫分娩の1例	中元 剛	産婦人科
産婦人科の進歩 59(2):100-101,2007	当科における若年者子宮頸癌の現況とHPV感染	山口 昌美	産婦人科
Journal of clinical anesthesia 19(6):467-469,2007	The Laryngeal Mask Airway for exchange of a nasal for an orotracheal tube in a patient with Treacher Collins syndrome.	Umegaki T	麻酔科
Anesthesia and analgesia 104(2):341-346,2007	Measurements of optical pathlength using Phase-Resolved spectroscopy in patients undergoing cardiopulmonary bypass	Kanoda T	麻酔科
Anesthesiology 106(3):458-462,2007	Effects of hemoglobin concentration, skull thickness, and the area of the cerebrospinal fluid layer on near-infrared spectroscopy measurements	Kanoda T	麻酔科
British journal of anaesthesia 98(4):484-490,2007	The alpha2-adrenergic receptor antagonist yohimbine improves endotoxin-induced inhibition of gastrointestinal motility in mice.	Hamano N	麻酔科
麻酔 56(10):1203- 1205,2007	後腹膜鏡手術において生体組織接着剤(フィブリノゲン加第XIII因子)のスプレー噴霧直後に空気塞栓を来した1症例	梅垣 岳志	麻酔科
MEDICAL REHABILITATION (78):51-54,2007	【呼吸リハビリテーション実践マニュアル 基礎から臨床まで】 周術期の呼吸障害について	西 憲一郎	麻酔科
日本医事新報 (4319):28-32,2007	【臨床医学の展望 2007】麻酔科学	中尾 慎一	麻酔科
Hypertension research 30(11):1011- 1013,2007	New Insights into the Therapeutic Management of Morning Hypertension with alpha(1)-Adrenergic Receptor Blockers	Takahashi H	臨床検査医学科
Hypertension 49(1):209-214,2007	Novel digitalis-like factor, marinobufotoxin, isolated from cultured Y-1 cells, and its hypertensive effect in rats.	Yoshika M	臨床検査医学科

(注)1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを入力すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる発表者の氏名を入力すること。

2. 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
臨床病理 55(12):1088- 1096,2007	「心不全の病態と臨床検査」新ガイドラインが認める最も優れた 検体検査:脳性ナトリウム利尿ホルモン,BNP	高橋 伯夫	臨床検査医学科
総合臨床 56(5):1961- 1962,2007	診断の指針 治療の指針 危ない高血圧”早朝高血圧”	高橋 伯夫	臨床検査医学科
日本検査血液学会 雑誌 8(3):307-311,2007	D-ダイマーの異常高値を認めた悪性黒色腫の1例	吉賀 正亨	臨床検査医学科
分子心血管病 8(5):461-468,2007	【腎臓から心血管障害を考える】臨床検査(バイオマーカー)か らみた心腎相関	高橋 伯夫	臨床検査医学科
臨床化学 36(2):140-145,2007	スタチンの多面的な作用とそのメカニズム	高橋 伯夫	臨床検査医学科
臨床検査 51(11):1203- 1207,2007	メタボリックシンドローム健診での注意点 血圧測定	高橋 伯夫	臨床検査医学科
臨床病理 55(9):824-831,2007	健診・保健指導による健康増進 生活習慣病対策への挑戦 臨 床検査の活用	高橋 伯夫	臨床検査医学科
Neuropsychobiology 55(1):43-46,2007	Olanzapine increases grey and white matter volumes in the caudate nucleus of patients with schizophrenia.	Okugawa G	精神神経科
European archives of psychiatry and clinical neuroscience	Frontal and temporal volume size of grey and white matter in patients with schizophrenia: an MRI parcellation study.	Okugawa G	精神神経科
Neuropsychobiology 56(4):216-219,2007	Cerebellar posterior superior vermis and cognitive cluster scores in drug-naive patients with first-episode schizophrenia.	Okugawa G	精神神経科
臨床精神薬理 10(8):1439- 1446,2007	【オーダーメイド医療の時代は来るか 臨床薬理遺伝学の現状 と課題】臨床薬理遺伝学からみた抗うつ薬の治療効果予測	奥川 学	精神神経科
外来精神医療 6(2):86-89,2007	認知症のケア アルツハイマー型認知症の鑑別診断	延原 健二	精神神経科
精神科治療学 22(5):517-521,2007	【強迫の診立てと治療】強迫性障害における脳画像研究	齊藤 幸子	精神神経科
精神神経学雑誌 109(6):614,2007	Semantic dementiaの症例検討 漢字理解・物品呼称の障害を 通じて	板東 宏樹	精神神経科
大阪てんかん研究 会雑誌 17(1):1-3,2007	バルプロ酸が誘因となり軽度意識障害を呈したてんかん患者の 1症例	笛木 孝明	精神神経科
Clinical and applied thrombosis/hemosta sis 13(3):323-328,2007	A case of hemophagocytic lymphohistiocytosis after the primary Epstein-Barr virus infection	Kitazawa Y	救急医学科

(注)1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に
発表したもののうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること(当該医療機関に所属する
医師等が主たる研究者であるものに限る)。

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる発表者の氏名を記入すること。

2. 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
今日の治療方針 2007 127-128,2007	まむし咬症	北澤 康秀	救急医学科
Expert Nurse 23(11):30-32,2007	クリティカルケア 循環動態を連続的に測定「PiCCO(ピコ)」って何ですか?	富野 敦稔	救急医学科
Medical Practice 24(6):1090,2007	One point advice 電解質異常を伴う嘔吐・下痢は侮れない	北澤 康秀	救急医学科
救急・集中治療 18(11-12):1626-1629,2007	【重症患者と栄養管理Q&A ICUにNSTがやってきた】集中治療における栄養管理体制の構築 集中治療における栄養サポートチーム(NST)の役割とは?	富野 敦稔	救急医学科
救急医学 31(7):782-783,2007	【熱傷治療ガイド2007】広範囲熱傷の治療 広範囲熱傷の栄養管理	北澤 康秀	救急医学科
重症集中ケア 6(5):64-68,2007	連続心拍出量測定装置「PiCCO」の活用方法と看護への生かし方	富野 敦稔	救急医学科
重症集中ケア 6(4):6-11,2007	【看護アセスメント・ケア編 重症患者の栄養アセスメントと回復状況に合わせた栄養管理】重症急性期患者に起こる代謝変動	北澤 康秀	救急医学科
重症集中ケア 6(4):016-020,2007	【看護アセスメント・ケア編 重症患者の栄養アセスメントと回復状況に合わせた栄養管理】重症急性期患者の高血糖対策 Intensive insulin therapy(IIT)を中心に	北澤 康秀	救急医学科
重症集中ケア 6(4):012-015,2007	【看護アセスメント・ケア編 重症患者の栄養アセスメントと回復状況に合わせた栄養管理】重症急性期患者の回復状況に合わせた栄養戦略	北澤 康秀	救急医学科
新薬と臨床 56(4):498-503,2007	敗血症性DICに対しantithrombin/danaparoid sodium併用療法が奏功した小児熱傷の1例	鈴木 聡史	救急医学科
熱傷治療マニュアル 103-109,2007	ショック離脱後の輸液治療	北澤 康秀	救急医学科
CIRCULATION Up-to-Date 2(増刊):66-83,2007	【病棟必携!カラーで診る循環器病の救急診療マニュアル】画像で解説 検査と診断 心エコー検査	西上 尚志	総合診療科
家庭医療 13(1):22-28,2007	家庭医療学におけるチームアプローチの重要性と日本における可能性 ミシガン大学家庭医療学科における実例	田中 夏貴	総合診療科

計 2214

(注)1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる発表者の氏名を記入すること。

(様式第12)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 今村 洋二
管理担当者氏名	薬剤部長 廣田 育彦、看護部長 安田 照美、 事務部長 竹林 俊雄

		保管場所	分類方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、 手術記録、看護記録、検査所見記録、 エックス線写真、紹介状、退院した患 者に係る入院期間中の診療経過の要約 及び入院診療計画書		管理課、各診療科、 薬剤部、手術部、 各病棟、臨床検査部、 放射線部、病歴情報課、 地域医療連携部、	保管部署で管理
病院の管理 及び運営に 関する諸記 録	従業者数を明らかにする帳簿	管理課	
	高度の医療の提供の実績	各診療科	
	高度の医療技術の開発及び 評価の実績	各診療科	
	高度の医療の研修の実績	各診療科	
	閲覧実績	病歴情報課	
	紹介患者に対する医療提供の実 績	地域医療連携部	
	入院患者数、外来患者及び 調剤 の数を明らかにする帳簿	医事課、薬剤部	
確規 保則 の第 9 状 況 条 の 2 3 及 び 第 1 1 条 各 号 に 掲 げ る 体 制	専任の医療に係る安全管 理を行う者の配置状況	有 (1名)	
	専任の院内感染対策を行 う者の配置状況	有 (1名)	
	医療に係る安全管理を行 う部門の設置状況	有	
	当該病院内に患者からの 安全管理に係る相談に適切 に応じる体制の確保状況	有 (専任2名)	
	医療に係る安全管理のた めの指針の整備状況	有	
	医療に係る安全管理のた めの委員会の開催状況 (平成19年度)	12回	
	医療に係る安全管理のた めの職員研修の実施状況 (平成19年度)	11回	
	医療機関内における事故 報告等の医療に係る安全の 確保を目的とした改善のた めの方策の状況	有	

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体として
の管理方法の概略を記入すること。